



指宿医療センター

基本理念 患者さまにやさしく、地域に信頼される 良質な医療の提供を目指します。

薩摩半島の東南端、指宿市の南方高台に位置し、南薩保健医療圏（枕崎市・指宿市・南さつま市・南九州市）を担っています。地域医療支援病院の承認を受けており、厚生労働省で定める国立病院機構の政策医療として「がん」、「成育」医療を担当する専門医療機関として位置付けられています。

【施設概要】 2023. 7. 1（データは 2022 年度実績）

1. 所在地 〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町 4 1 4 5 番地
2. 特徴 病院群輪番制参加病院、救急告示病院、エイズ拠点病院、地域医療支援病院、鹿児島県がん診療指定病院、開放型病院、理学療法施設
3. 診療科 18 診療科
 - 【外科系】眼科・外科・呼吸器外科・泌尿器科・産婦人科・整形外科・脳神経外科・小児外科
 - 【内科系】内科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・小児科・肝臓内科
 - 【外科系・内科系以外】麻酔科・リハビリテーション科
4. 病床数 158 床（一般 154 床、感染 4 床）：3 病棟
5. 薬剤師数（定数：5 名） 薬剤科長 1 名、主任 2 名、薬剤師 2 名、助手 2 名
6. 主な業務
 - (ア)調剤 入院 18,813 枚/年、外来 2,614 枚/年（院外処方率 91.5%）
 - (イ)注射 入院 30,111 枚/年、外来 7,487 枚/年
 - (ウ)薬剤管理指導件数 3,511 件/年（293 件/月）
 - (エ)無菌製剤処理料 I：714 件/年（うち閉鎖式使用 8 件/年）、II：0 件/年
 - (オ)病棟薬剤業務 未実施
 - (カ)チーム活動 ICT（感染対策向上加算 1）、AST、NST（加算あり）、緩和（加算なし）、褥瘡対策（加算なし）、医療安全管理部会（薬チーム）、心臓リハビリ、心不全カンファ、排尿自立支援チーム（加算あり）
7. 特徴的な業務
 - ・包括ケア病棟での薬剤管理指導業務・持参薬確認
 - ・外来患者指導（初回抗がん剤導入患者、初回麻薬処方患者）
 - ・B 型肝炎再活性化のスクリーニング・モニタリング（入院・外来、全ての再活性化リスクのある薬剤を使用している患者を対象）
 - ・入院支援センターと連携して術前中止薬確認（泌尿器科・外科・循環器科）
 - ・薬学部実務実習受入れ

8. 2022 年度の取り組み
- ・指宿地区薬剤師地域連携セミナーの実施等による地域薬局との連携強化
 - ・B 型肝炎再活性化防止システムの構築
 - ・薬剤科におけるインシデント 0 レベル報告の解析
 - ・コロナウイルス治療薬の調達（コミナティ、ベクルリー、ゼビュディ、ロナプリーブ、ラゲブリオ、パキロビットパック、ゾコーバ）
 - ・NHO フォーマリナーの導入

9. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	○

10. 目標

【病院目標】

- ・患者目線に立った安全・安心で良質な医療の実践
- ・業務運営の効率化と経常収支改善
- ・地域との連携強化
- ・臨床研究、教育研修の強化
- ・職場環境の改善

【薬剤科目標】

- ・薬剤管理指導を継続し、質の向上に努める。
- ・プロトコールに基づく薬物治療管理（Protocol Based Pharmacotherapy Management : PBPM）の導入を検討する。
- ・プレアボイド（日本病院薬剤師会）、副作用報告（PMDA）を推進する。
- ・業務整理と効率化を行い、薬剤科関連業務のマニュアル作成・改訂を行う。
- ・後発医薬品への切り替えを推進し、後発医薬品使用体制加算 1 を継続する。
- ・新たなフォーマリナーの導入を進める。
- ・連携充実加算及び退院時薬剤情報管理指導料を継続する。
- ・指宿地区薬剤師地域連携セミナーを開催し地域との連携を強化する。
- ・院内講習会、研修会を開催し、質の高い医療従事者育成に貢献する。
- ・論文の投稿や学会・研究会への積極的な参加を促進し、薬剤師の質の向上を図る。
- ・薬剤師認定資格の取得を推進する。
- ・年次休暇等の取得を推進する。